

災害などに備え連携

各種団体と協力体制づくりを進める

蒜山高原への災害時応援協定締結式



- 高知県須崎市
災害時相互応援に関する協定(9/28)
観光に関する交流協定(9/28)
- 岡山県柔道整復師会
災害時における柔道整復師会の協力に関する協定(9/30)
- 休暇村蒜山高原
災害時等の協力に関する協定(10/6)

調印後、協定書を掲げる休暇村蒜山高原の樋口総支配人と太田市長

自然災害が猛威を振るう現在、何も起こらないことを願いながらも、もしもの備えとして、他の自治体や団体と、災害時などにおける協定を締結しました。岡山県柔道整復師会とは、被災者の疾病に対する応急救護を要請する協定、休暇村蒜山高原とは、災害時の支援者に宿泊施設などを優先的に提供要請できる協定を締結。また、高知県須崎市とは、相互の救援や被災者の一時受け入れなどを行う協定と併せ、観光交流に関する情報提供などを行う協定を締結しました。

9月24日、市役所本庁舎で「暮らしの便利帳」発行に向け、(株)サイネックスと協定締結式を行いました。市は、来春の市制施行10周年を記念して行政や医療機関、観光情報などを盛り込んだ「暮らしの便利帳」の改訂版を官民協働で発行し、来年4月の各戸配布を計画。(株)サイネックスが各事業所を訪問し、広告収入を基に、企画、編集、印刷、配布を行います。事業者の皆さんのご協力をお願いします。

暮らしの便利帳協働発行に向け協定 4年ぶりに便利帳発行へ



写真上：協定締結式で調印する様子
写真右：改訂版の暮らしの便利帳(表紙)のイメージ



工事の安全を祈り、鍬入れをする太田市長

北部火葬場新築工事安全祈願祭 新築移転工事に着手

北部火葬場新築工事安全祈願祭が9月21日に行われました。現在使用している北部火葬場(蒜山初和)の老朽化により、蒜山下長田へ新築移転。平成27年の秋ごろの使用開始を目指しています。新火葬場は、現在の施設にはない待合室を新設し、火葬から納骨までの間施設内で待つことができるようになります。また、下蒜山の登山口に近いくということ、登山者や観光客が外から利用できるトイレも設置されます。



市政に関する動きの一部を紹介します

9/29 協力隊の5人目に道添さん

地域おこし協力隊の委嘱式が市役所本庁舎で行われ、大阪府茨木市出身の道添有加さんに委嘱状が渡されました。交流定住センターなどでテーマ・課題の調査や整理を行った上で、地域でさまざまな活動を行います。



10/10 地域の活性化に向け相互連携強化

真庭市とNTT西日本は、中・四国地区では初となる情報通信技術の活用に向けた包括連携協定を締結しました。真庭ひかりネットワークや災害時の協力体制の構築など、地域の活性化やサービスの向上を推進します。



10/19 人生の最後について考える

NPO法人岡山県介護支援専門員協会より、在宅医療普及啓発事業が北房文化センターで行われました。在宅医療・介護に関する講演と映画上映が行われ、誰にでも訪れる人生の最期のあり方について学びました。



市長室から
こんにちは!

ふるさと納税のお勧めを!

皆さん、「ふるさと納税」をご存じですか。市外の方が真庭市に寄付すると、寄付額から2,000円を差し引いた額が所得税・住民税から税額控除されます。さらに、寄付のお礼として真庭市が、実質2,000円以上の値打ちのある特産品を差し上げるもので、寄付額に応じてお礼も良くなる仕組みです。おかげで、24年度に50万円だったものが、25年度には280万円、26年度には9月現在で700万円を突破し、さらに大きく伸びようとしています。寄付自体ありがたい限りですが、真庭の特産品の宣伝になること、真庭ファンが多くなり、訪問や移住にも結びつくことにもつながります。市外のご親戚・友人などさまざまなご縁がある人に、ふるさと納税をお勧めいただけませんか。



不燃ごみを使ってエコバッグを作ったワークショップ

もったいないフォーラムin真庭
「ごみで何ができるかな?」
循環社会の形成に向けた、もったいないフォーラムin真庭が10月5日、勝山文化センターで開催されました。真庭高校食品科学科生徒による有害獣利用プロジェクト(ジビエ製品)の発表やアートユニットの淀川テクニクによる講演、ゴミを使ったワークショップが行われました。参加者は、3R(リデュース「ゴミを減らす」・リユース「再利用する」・リサイクル「再生利用する」)について楽しみながら学びました。



地域の取り組みなどを報告する参加者

市政懇談会
交流定住について考える
市政懇談会が10月7日、本庁舎で開催され、地域づくり委員の代表者12人と県外から真庭への移住者2人が参加しました。今回は交流定住をテーマに、各地域の取り組みや現状を報告し、活発な意見交換を行いました。参加者からは、各地域の空き家の情報収集や蒜山の別荘の活用、県外からの移住者への地域の対応などについて、真剣な話し合いが展開され、有意義な懇談会となりました。